

東シナ海ブロック水産業情報

No. 121(2023年4月～6月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	○豊前海 【カキ養殖】 ・順調に経過。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。 ・クルマエビの放流、ガザミの中間育成、放流を実施。	○有明 ●マカキ養殖 4月中旬以降、本養殖が開始されている。今年度、九州北部の梅雨期間は6月11日頃～7月22日頃で、下旬から降水量が増え、海域が低塩分化し始めたものの、6月の時点では、養殖中のカキは大量斃死を起こすことなく、順調に成長していた。 ○玄海 ・アカウニ殻径20mm 50万個放流済み ・マナマコ種苗生産中、6月から配布開始		ブリ：類結節症、ベネデニア症 マダイ：滑走細菌症、ビブリオ病、エドワジエラ症、エビテリオシスチス症、ビバギナ症 ヒラメ：スクーチカ症 トラフグ：ヘテロボツリウム症、白点病 カワハギ：Ⅰ型αレンサ球菌症 クルマエビ：PAV、ビブリオ病

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
	・養殖カンパチ及びシマアジでα溶血性レンサ球菌症(Ⅲ型)が流行中。 ・令和5年度のウナギ生産において、シラスウナギの変態を確認。		